

# 特別委員会行政調査報告

## 議会改革委員会

◎委員長

(○)鈴木英治、谷田貝将典、野々川嘉則、

小沢国大、船引嘉明、佐藤大輔、

稲垣守、加藤晶子)

7月26日(火) 大阪府八尾市

### 大規模自然災害発生時における市議会の対応、議会におけるタブレットの活用

#### 市民の安全を守る市議会の対応

近年、日本全国で多発している自然災害等に対して市民の生命・財産等を守る為の組織運営をしている八尾市議会の対応を調査・研究してきました。

八尾市議会では八尾市議会災害対策会議を常設で設置しており、災害時、議会として即座に対応できるようにしています。構成委員は正副議長と各会派代表が委員となり、議員の安否確認(セコム安否確認サービス)、各市議の連絡体制の確立を行うことにより、本会議、常任委員会の召集に速やかに応えるようにしています。各市議から被害地や避難所などで把握した個々の情報を集約して市議会災害対策会議に報告。また災害対策本部から情報をもらう等、ハブの役割を果たせるように運営を設定しています。

小牧市議会としても災害時等に対応できる組織の必要性を改めて感じました。

7月27日(水) 兵庫県西宮市

### 議会におけるタブレットの活用

#### 更なる議会改革の推進に向けて

全国の市議会にてITを含むタブレット端末の利活用が進んでいる中、先進地である西宮市を調査・研究してきました。

西宮市議会では議会資料閲覧システムにより毎年大量に配布される議会資料を電子化し、市より貸与されるタブレット端末を用いて議案の審査や調査、議会運営の効率化を図ることを目的として議員が自宅や外出先など場所を問わず、いつでも資料を閲覧できるようにしました。

これにより過去資料の閲覧が容易になり、本会議や委員会時でも会議録閲覧やインターネット検索が可能になったとのことでした。公費としてはペーパーレス、FAX、メール配信での情報伝達をすることで日曜・休日の職員の出勤が無くなる等経費節減にも繋がりました。

小牧市議会としてもペーパーレス化を含むタブレット端末等の利活用について有益性を感じました。

